

B & G 財団との「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の支援金決定書授与式

4月11日、B & G財団の朝日田常務理事より「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の支援金決定書が授与されました。



【B&G 財団の朝日田常務理事(左)】

この事業は、災害時に迅速な支援活動が実施できる仕組みづくりとして、2021年度から第一期として25市町に防災拠点の設置を開始し、2022年度は第二期として新たに22道府県29市町村への設置が決定され、その一つに明和町が選ばれました。

今回、明和町には災害発生時の緊急対応のための資機材として防災倉庫の整備、油圧ショベル2機やダンプ2台、救助艇や備蓄機材等が配備されることになりました。

※写真はイメージです



【防災倉庫】



【油圧ショベル・ダンプ】



【救助艇】

また、災害エキスパートの人材研修の育成費用等、総額5,400万円の助成を行っていただけることになりました。

昨今の温暖化による水害の発生頻度の高さや、日本列島の4つのプレートからなる海溝型地震の被害が想定される中、当町でこの事業が実施できることに強い使命感を感じております。



【(左から)朝日田常務理事・私・副町長・教育長】

今後、周辺自治体との災害時相互応援協定締結等の支援体制づくりもしっかり構築していきたいと考えております。そして、当事業が円滑に進み、配備される機材を災害時に迅速に活用できるよう人材育成にも力を入れ、さらなる防災体制の強化に努めてまいります。

令和4年4月15日

明和町長 富塚もとすけ